

## 平成24年行政事業レビューシート

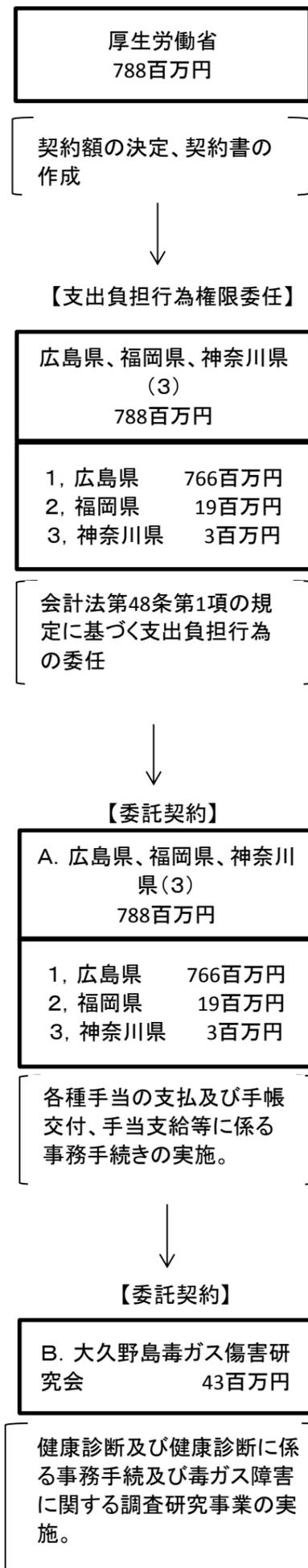
(厚生労働省)

事業名	特定疾患調査委託費	担当部局庁	健康局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和49年度	担当課室	総務課指導調査室	総務課指導調査室 稲葉 和男			
会計区分	一般会計	施策名	IV-3-3 原子爆弾被爆者等を援護する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	「毒ガス障害者救済対策事業の実施について」				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	第二次大戦中、広島県大久野島にあった旧陸軍造兵廠忠海製造所、福岡県北九州市にあった同曾根製造所及び神奈川県寒川町にあった旧相模海軍工廠に従事していた方の中に、当時製造していた毒ガスによる健康被害が多く見られることから、これらの方に対し、健康診断及び相談指導の実施、医療費(医療保険自己負担分)の支給、各種手当の支給等を行い、毒ガス障害者の健康の保持及び増進を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	特定疾患調査委託費 委託先：広島県、福岡県、神奈川県 実施事業：毒ガス障害者として認定された者に対し健康診断、各種手当の支給、相談事業等の実施及び毒ガスの後遺症等に関する研究事業の実施						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位：百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	969	927	873	793	754
		補正予算					
		繰越し等					
		計	969	927	873	793	754
	執行額	922	835	788			
執行率(%)	95%	90%	90%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	当事業は、健康診断及び相談指導の実施、医療費(医療保険自己負担分)の支給、各種手当の支給にかかる経費であるため、定量的に事業成果を示すには馴染まない。	成果実績	-	-	-	-	-
	達成度	%	-	-	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	健康管理手帳交付者数	活動実績 (当初見込み)	人数	2,142 -	2,055 ( 2,086 )	1,962 ( 2,039 )	- ( 1,921 )
単位当たりコスト	404千円	算出根拠	793百万円 / 1,962人 = 404千円				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	諸手当	690	657	対象者数の減			
	医療費	67	64	対象者数の減			
	健康診断費	28	25	対象者数の減			
	調査研究費	3	3				
	事務費	3	3				
	相談事業費	2	2				
	計	793	754				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・ 況・ 予算の 状	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	毒ガス等の影響により今なお健康上特別の状態にある者に対して健康診断等を実施するものであり、優先度は高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	毒ガス障害者の救済措置は、国の責任において実施する必要がある。
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	経費の大半を毒ガス障害者に対する直接給付(手当等)が占めているが、給付の水準は他制度とのバランスを考慮して設定しており、妥当である。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	調査研究事業を円滑かつ適切に執行する観点から再委託を行っているものであり、合理的な支出である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	経費の使途については、毒ガス障害者に対する救済措置の円滑な実施のため真に必要なものに限定している。
活動実績、 成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	概ね見込み通りに活動できている。
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	毒ガス障害者救済措置の実施にあたり、本事業による研究成果が活用されている。
点検結果	執行実績等を踏まえ、今後も適切に予算要求を行う。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	特定疾患調査委託費については、毎年度恒常的に不用が生じており、予算と執行の乖離の要因等を精査し、予算を縮減すること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	既存事業対象者及び手当支給対象者数の見直しを行い、予算額の縮減を図った(△39百万円)。		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	193	平成23年行政事業レビュー	170

※平成23年度実績を記

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)



A.広島県			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
手当	健康管理手当等	685			
医療費	医療費	32			
外部委託	健康診断費及び調査研究費	43			
賃金等	賃金及び報酬等	4			
賃借料等	会場借上料及びパソコン等リース料等	1			
需用費	印刷製本費、消耗品費等	1			
その他	旅費、郵便料、保険料等	1			
計		766	計		0
B.大久野島毒ガス傷害研究会			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
健康診断費	一般検査及び精密検査費用	31			
事務費	検診会場使用料及び賃金等	5			
調査研究費	研究機材購入及び消耗品費等	3			
その他	資料校正委託費、各種事業費	4			
計		43	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.広島県、福岡県、神奈川県

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	広島県	各種手当、医療費の支給等	766		
2	福岡県	各種手当、医療費の支給等	19		
3	神奈川県	各種手当、医療費の支給等	3		
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.大久野島毒ガス傷害研究会

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大久野島毒ガス傷害研究会	健康診断及び調査研究事業の実施	43	随意契約	100%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					